

令和6年度 教科指導計画表

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第1学年	体育	2	井山 康彦	現代高等保健体育(大修館書店)

育成を目指す3つの目標

知識及び技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	予 定	時 数	実 施	時 数
1 学 期	体育理論 体づくり運動 陸上競技 球技【選択種目】(ネット型)【バレーボール・卓球・テニス】	14		
2 学 期	体育理論 体づくり運動 球技【選択種目】(ゴール型)【バスケットボール】 球技【選択種目】(ネット型)【卓球・バドミントン】	20		
3 学 期	体育理論 体づくり運動 球技【選択種目】(ゴール型)【サッカー】 球技【選択種目】(ネット型)【卓球・バドミントン】	12		

評 価

評価の観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

評 価 方 法

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
・スキルレベル(運動の行い方) ・ルールやスキルの理解度 ・道具の使用方法(持ち方・握り方・設置)	・ペアでの活動 ・チームでの活動 ・全体での活動	・毎時間での点呼(健康管理状況) ・授業態度(聞く・見る・やってみる) ・課題の発見や解決

観点別評価パターンと評定

備 考

AAA	5	ABB	4	BBB	3	BCC	2	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の観点①②③の順である。 ・左記パターン以外は、教科担当の審議により評定を出す。
AAB	4	BAB		BBC		CBC		
ABA		BBA		BCB		CCB		
BAA		CBB		CCC		1		